

ヒナザサ*Coelachne japonica* Hack.イネ科
Gramineae**カテゴリー**大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は狭い。本県での生育地，個体数はともに少ない。水辺や湿地に生える小形1年草のため，水環境の変化や植生遷移の影響を受けやすく，生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 本州 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 丘陵地や低山地の水辺，湿地。

現 状 生育地は散在し，群生するが，その生育範囲は狭い。水環境の変化で消滅した所がある。

コメススキ*Deschampsia flexuosa*
(L.) Trin.イネ科
Gramineae**カテゴリー**大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 九州では本県と鹿児島県だけに分布する。県内では主として火山山頂帯に生育し，植生の遷移や登山者の踏圧などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 九重火山群，(祖母・傾山地)

分布域 北海道 本州(北～中部 奈良:大峰山 伯耆大山) 四国 九州(大分・鹿児島)
北半球 南米(パタゴニア) ,アフリカ

生育環境 火山山頂帯の草原。

現 状 低木林が発達し減少した所がある。「祖母・傾山地」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。

備 考 北方寒冷地要素の植物。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

ウンヌケモドキ*Eulalia quadrinervis*
(Hack.) O. Kuntzeイネ科
Gramineae**カテゴリー**大分県 IB
環境庁 II

選定理由 県内では日当たりのよい尾根や海岸草地にみられ，生育地，個体数は，僅少である。植林や草地の森林化により生育地は少なくなり，絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(東海道以西) 四国 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
中国 ,インド

生育環境 海岸近くの岩場や草地。

現 状 以前は多くみられたが，生育地の草地が少なくなり，現在は数か所だけが確認されている。